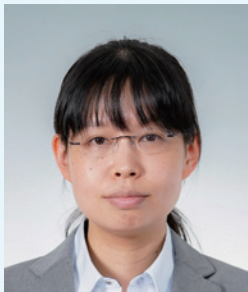


水溶液プロセスによる水酸アパタイト結晶の形態制御と水圏機能設計



後藤 知代
大阪大学
准教授

水環境下における吸着剤の表面吸着やイオン交換反応は、結晶材料と水圏界面の反応であることから、吸着剤の結晶構造から形態のナノ～マクロ構造制御がその高機能化において重要となる。水酸アパタイト (HAp) は、陽陰イオン交換特性および特異な吸着特性をもち、無機汚染物質および有機汚染物質除去の環境浄化材料として期待される。

本研究では、表面吸着やイオン交換などの HAp 結晶と水圏界面での反応と水分子の影響の解明に取り組み、水圏機能デザインのための HAp 材料設計指針の確立を研究目的とする。

